

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援事業 山形コロニー ういる天童			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～	2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子で進める子育てサポート事業を、療育支援の特色として実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 親子通所の中で、「できた」「楽しい」「また一緒に来たい」と感じる療育機会を提供できるよう、毎日職員間で、より良い支援等のPDCAを行っている。 「できた、できない」の結果ではなく、本児の努力を認め、励まし、自信の向上を支援している。 	成長に伴い、療育から希望する園への段階的移行を果たせるよう、親子の子育て支援を継続していきたい。
2	親子通所への参加を原則としているが、幅広い療育ニーズに寄り添えるよう、預かり支援も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 預かり支援は、母子分離課題や就園準備支援、母のレスパイトケア等を目的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い療育支援や、障害への理解や配慮、親への相談援助等のスキルアップを全職員で高めていきたい。 家庭支援や、保育園等へのサポートの重要性を共有し、支援力向上を目指したい。
3	地域の療育ニーズや利用希望等に応えるため、定員超でも、受け入れ可能最大数の受け入れに努めている。	地域の療育事業所として認知され、安心して相談・利用いただけるよう、地域との連携を重視した事業活動を行っている。(地域の子育てサロンへの参加、地域交流会の開催、主催研修会の開催 等)	より一層、地域の皆さんに開かれた事業所になるよう、に日常から地域との関わりを大切にしていきたい。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 親子通所に参加したいが、共働きや就業を理由に、通所が難しい、または限られた回数しか通えないが増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の提供条件が先行しており、課題軽減に向けた具体的検討が不足している。 調整してでも親子活動に参加したいと思っていただける療育の提供と努力を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 働く方が、より親子で療育支援を受けやすくしていくための具体的検討を行っていく。 更なる保護者のニーズアセスメントを進めていく。 日々のミーティングで提供した療育内容の確認や検討を継続していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 通所されている方への情報発信を増やしたい。 通所検討中の方にもどのような活動をしているのか分かるような情報提供を行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間予定や、活動状況等の取組みが見えづらい。 遊びの内容や関わり方等を、すべての保護者の皆さんと共通認識を十分に共有できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のケースの希望や目標と、事業所が目指していきたい目標等を、より共有できるよう工夫していく。 当事業所の特色等が伝わりやすいツールを検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携のための時間や労力が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 併用している園や市の窓口等との連携をする機会が限られてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携機会等のスケジュール管理や定例化の検討や、訪問月を設ける等の工夫をしていく。 目標の共有等を関係機関と行えるよう担当者会議等の機会を積極的にもつ。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業 山形コロニー ういる天童
------	-----------------------

公表日 令和 7 年 2 月 14 日

利用児童数 令和 6 年 12 月 27 日

回収数 24

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2	0	0	時計が子供から見やすい位置にあると思います。	ご意見ありがとうございます。お子さんの状況に配慮しながら、どのようにすると見やすかったり、注意を向けやすいか都度考えていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2	1	0	たまにほごりが落ちています。	ご意見ありがとうございます。清掃については担当や役割を決めて改善を図っております。こどもたちと心地よく過ごせる環境を今後も整えていきたいと思っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1	1	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	2	土曜日は下の子がいるため参加できませんでしたが、なかなか参加できず申し訳ありません。	ご意見ありがとうございます。今後も日々の活動で関わり等について保護者の皆さんと共に学ぶ機会をもっていきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22	15	0	2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	1	活動後のふりかえりを始めてから共感的に感じることができた。	ご意見ありがとうございます。今年度から活動後に保護者の方と振り返る時間をより充実化したことで、私たちも気付きを得ることが増えました。今後も継続して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1	2	6	きょうだい同士の交流が少なく参加できませんでした。(都合が合わず)	ご意見ありがとうございます。当事業所ではきょうだい交流を目的とした活動は行っておりませんが、地域交流会等の機会はきょうだいの方にも一緒に楽しんでいただきました。また、きょうだいの発達相談等もお受けしております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	1	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	5	そのような状況(けが等)にまだなったことがないので。	ご意見ありがとうございます。怪我等があった際には保護者等へ状況等について説明しております。緊急時は連絡し、病院の受診等をご相談しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	2	毎週とても楽しみにしています。毎週楽しかったと言いがら帰ります。ありがとうございます。	お言葉ありがとうございます。おこさんの「わかる」「できる」が重なることで安心感を広げて活動していけるよう、楽しみながら進めていきたいと思えます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	1	1	毎週とても楽しみにしています。現在は楽しく通っているようですが、気分による時もあります。	お言葉ありがとうございます。おこさん、保護者等の皆さんが「またうにいる来たい！」と認めていただけるよう、今後も職員一同努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	1		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援事業 山形ココニー ういる天童

公表日 令和 7 年 2月 14日

○：できている △：より良くしたい ×：できていない

	チェック項目	評価	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	・一人ひとりの療育活動の目標や活動設定等や人数等も考慮して個別や小集団で活動しています。事業所内の個室、教室、多目的ホール、庭や地域の中にある近隣の公園や散歩道等も利用しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	△	・定められている保育士等の配置基準は各ユニット2名づつですが、当事業所は基準より多い職員を配置しています。 ・職員は保育士8名、児童指導員3名、社会福祉士4名、精神保健福祉士1名など、国家資格等をもつ職員を配置しています。	・母子療育の向上図っていけるよう、利用される方の置かれている環境や現状を全職員で理解し関わっていけるよう取組んでいます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	・当事業所は、これまでも療育環境としての安心・安全と分かりやすい環境を考え『構造化された施設』として運営しています。また、地域の障害のある方や高齢の方等、どなたでも来所しやすいようバリアフリーの環境となっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	・施設内は1年を通して常時換気、遊具等は清掃・消毒等を毎日行っています。	・建物の経年劣化による改修は都度検討し進めております。清潔を保っていただけるよう気付いたことは声をかけあい、整えていきたいと思ます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	・お子さんの状況等に応じて使用できるよう、個別で対応できる個室を備えています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	△	・毎日、限られた時間内ではありますが朝と夕のミーティングを行っています。支援内容の振り返りや共有等を行い、今後の活動へ反映できるよう取組んでいます。	・PDCAの意識を全体で確認、共有し、伝達方等を都度検討し取組みを継続して参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	・毎年保護者向けアンケートを実施し公表しています。	・保護者の方々からの意見をを通して、私たちが気付けなくなっていることを再認識したり、意見についても学ぶことが多くあります。今後も都度声をいただきながら一緒に良い事業所づくりに努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	△	・今年度は職員研修を行う時間を定期的にもち、その中で意見や考えを聴く機会を設けられました。	・業務全般について様々な意見を聴き、改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	・法人全体では、適切な事業所運営のために内部監査を実施しています。今年度は山形県の監査を受け、運営についてのご指導や意見交換をしております。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	△	・法人全体研修や内・外部での研修を実施し、専門性向上を図れるよう努めています。	・研修内容が普段の支援にどのように活かされるのか振り返り等も含め取組んで参ります。
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	・お子さん一人ひとりの「たのしい！」「できた！」機会に繋げていけるよう日々の支援プログラムを作成し、ミーティング等で検討しています。 ・今年度からプログラムの公表を当法人のホームページで公表しております。		

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	・現状の成長段階等を確認し、達成できる目標を計画するよう努めています。今後も保護者やお子さんの環境や状況を把握し寄り添いながら、具体性をもって実践できるよう取り組んでいます。	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	△	・ミーティングや研修などを通して、職員の意見等を聴いたり、確認するよう努めています。支援の『共通理解』に繋がったり、深めていけるよう今後も意見交換や当事業所の思い等を伝達していけるよう進めています。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・計画に沿った内容であるかを都度確認し支援を行っています。 ・日々の療育活動で「計画に沿った」視点や遊びの展開をどのように進めていけるかを都度検討しています。	・目標に対しての関わり等をお子さんや保護者の皆さんと共有して進めていけるよう努めて参ります。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	・遠城寺式発達検査表等を用い、客観的評価で現状の段階や発達課題を確認できるよう努めています。アセスメントの必要性や視点を今後より深めていけるよう取り組んでいます。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・当事業所では、これらの項目が全児童の個別支援計画にもれなく位置づけられています。	・計画書に沿って『共通理解・共有』を全職員で進め、適切なサービス提供へ繋いでいけるよう進めて参ります。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・計画に基づく活動プログラムの立案～検討～決定はミーティング等で共有や確認を重ねています。	・母子通所での「楽しい」「また行こう」と思える時間をどのように提供できるか日々試行錯誤ではありますが、全体で進めていけるよう努めています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・活動予定や流れの大枠は定め、その中で1年を通して季節を感じられる遊びの提供や、同じ活動でも遊び方を工夫し、お子さんの興味・関心を広げていけるよう関わっています。	・お子さんの発達や成長状況に応じてプログラムの検討をしていけるよう努めています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・計画時において、成長や発達の段階を確認し、個別・小集団の活動設定を検討しています。現状の環境から関わり方や対応等を検討するよう全職員で努めています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・『支援予定表』を使用し、限られた時間内ではありますが、職員同士が連携して検討や確認が進められるよう努めています。	・利用状況や役割、事業所としての1日の動きや対応（見学等）を具体的に伝達・記載し共有するよう努めています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	△	・支援終了後に、毎日振り返りや確認を行っています。活動状況や環境の設定等を確認し、次回の対応について検討し、反映するよう努めています。	・限られた時間内で全体運営等のことも含め共有等を行っています。紙面上や打合せで共通理解をもって望めるよう都度見直しをして参ります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・今年度の制度改正において、より一層記録等の業務を求められているため、記載する内容等について確認・伝達等を行っています。	・「なぜ記録が必要なのか」という基礎に立ち返り、『求められている記録の内容』『適切な記入』について職員一人ひとりが考え全体で進めていけるよう努めて参ります。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・日常の母子活動の時や、帰りの対応時、または面談設定等で、保護者から話を伺う機会をもっています。	・関係機関とも適時連絡や連携を取り合い、継続して活動を応援していけるよう努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・参加する際には支援員等から活動時の様子や発達状況等を確認し参加するようにしています。今後もその点を継続し参加できるよう努めてまいります。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・外部連携時には、事前に支援員等と情報共有するよう努め、状況の確認を行っています。訪問等で直接見る機会を設定し、継続した連携が行われていくよう努めています。		
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・保育園、幼稚園、こども園を併用する児童が多いため、適時在籍園に連絡や訪問等を行い、現状や目標の共有に努めています。 ・連携した内容についても事業所内で共有するよう努め、療育活動をどのように進めていけるか検討と実践に努めています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・天童市健康課、教育委員会、保育園等とは訪問や連絡を行っています。園との併用児童が多いため、移行連携は園が主体となることが多いですが、療育活動の場とも共有する機会をもっています。今後も移行支援を意識し適切な機会を提供していけるよう努めています。		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	△	・地域の児童発達支援センターから助言を受けることや連携が図られることはありません。 ・地域で行われる各種研修には参加しています。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・地域のなかにある公園や散歩道等で挨拶や環境の共有等をする機会を大切にしています。 ・地域交流会「天童コロニー祭り」を、コロナ禍後ようやく再開できました。 ・関係機関と就園する園等との連携、相互の訪問支援、情報共有等を行っています。		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・母子通所時や帰宅時、「おたより」等で保護者の皆さんへ伝える時間をもてるよう継続して取り組んでいます。 ・活動状況の伝え方等には工夫をし、家庭と繋がっていけるよう全職員で努めて参ります。		

	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△	・日頃の母子通所時から、お子さん・保護者との信頼関係を築くことから始めるよう努めています。関係が構築できることで、関わり方や声のかけかた、褒めて関わること等を共有しています。	・全職員がお手本となれるよう、ペアレントトレーニングの土台から今後も学んでいきたいと思えます。
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・利用契約の際に説明しています。運営規定や重要事項説明書等に変更があれば説明し、同意をいただいています。 ・今年度は法改正もあったため、職員自身も制度等について知り、理解を深めて参ります。	
36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・母子通所時やモニタリング等で確認を進めています。家庭や在籍園での様子、主治医やセラピストからのアドバイス等を確認し、療育活動での計画作成に繋げていけるよう努めています。		
37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・児童発達支援管理責任者が保護者や、職員等と確認したことを集約した計画書を作成し、保護者から同意を得ています。お子さんの発達段階や現状を鑑みて説明を行い、共有し活動へ繋げています。		
38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・家庭での子育てや、園・療育等での活動全般について「どうしてこうなのかな」と感じることに寄り添えるよう全職員が日々接しています。相談体制や機能は十分ではありませんが、全体で声をかけあいながら力をつけているよう進めています。	・話す機会や相談の時期等はお子さん一人一人により合わせていけるよう努めていきます。	
39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△	・今年度から母子活動終了時に保護者の皆さんと振り返りの時間をもち、お子さんの様子等を話す機会を設け、交流に繋げています。	・通所事業では、利用契約児童以外への療育提供は実施しないため、きょうだい間の交流機会は実施していません。ただし、土曜特別開所で行うイベント機会時は、きょうだいの方にも参加いただける機会や環境はございます。	
40 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・ご要望や苦情の受付体制は契約時に説明しています。また、掲示や直接受付の実施予定を連絡網でご案内しています。今年度も第三者委員の直接受付を2回開催しました。 ・今後もご意見等を言いやすい雰囲気や環境作りの整備を行って参ります。		
41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	△	・主にホームページで活動の様子を伝えていきます。長期休暇等では連絡網を活用した発信を行っています。	・SNS全盛のニーズに合わせた発信方法を模索すると同時に、親子で活動して「楽しかった！」実体験を重ねていけるよう機会を検討していきたいと思えます。	
42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報は、保護規定に沿って管理しています。契約時に書面を取り交わすことを継続しております。今後も個人情報を取り扱う意識を向上していけるよう、声をかけあい、職員教育にも取り組んでいます。		
43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・活動を共にし、個々に合った伝達方法を都度検討して関わっています。視覚的に分かるツール等を活用し、お子さんが「わかる」「伝わっている」と感じ、周囲と繋がりをもてるよう支援しています。	・意思疎通や伝達は表情や行動、言葉等、お子さんによって様々です。色々な思いを受止めながら思いの発信や受信に繋げていけるよう努めています。	
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・今年は「天童コロニー祭り」にて地域の方や学生にご協力いただき開催しています。 ・継続して地域の子育てサロンへ参加し交流を続けています。	・今後も地域の方々の必要に応じて施設を使っただけのよう繋がりをもち活動して参ります。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や緊急時等のマニュアルを作成し、現状に合わせて都度修正や整備を進めています。 ・活動時に保護者の方とも訓練を行っています。 	・訓練の内容等については、今後も整備をし、検討を重ねていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で業務継続計画を策定し、修正や更新をしています。非常時に分かりやすい内容で進められるよう整備しています。 ・法令に則り、年2回以上の避難訓練を実施し、その都度1週間の訓練週間を設け、全利用児の方に参加していただいています。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時の体調等の確認を保護者と共に行っています。服薬が必要な方には与薬依頼書を説明し同意を得た上で職員が投薬をしています。 ・怪我等がある際には保護者へ状況等を合わせて伝え、確認・共有をしています。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認しています。個々の実情に基づいた確認を行い提供しています。おやつ等の提供時もリスク管理を行っています。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、必要な訓練（避難訓練等）や研修（熱中症対策、感染症等）を行っています。 ・安全・安心な環境を整備し、維持・継続を今後もしていけるよう、適時見直ししながら、計画を進めています。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練に親子で参加や、継続した感染症対策（検温、消毒、マスク着用）等で保護者の皆様にはご協力をいただきながら進めてきました。移動時には手をつないで歩行する等、日々の活動時にも安全面について確認をしています。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット等は、職員間で毎日チェックと共有を行っています。環境設定や関わりを検討し次回に繋げていけるよう調整しています。安全管理の視点や遊び方等を今後も気付きや学びをもっていけるよう継続して行っております。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修に法人内から毎年参加しております。また年1回以上は全職員に法人内外で研修する機会をもっています。日々のミーティングでも全体で気付きを共有するよう努め、早期発見・虐待防止の視点を醸成するよう取組んで参ります。 	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		<ul style="list-style-type: none">・これまでも、強度行動障害児等、活動に安全管理等が必要なケースは具体的な対応等を計画に入れ、内容を説明し同意を取っています。そういった対応に繋がらない支援が前提ですが、やむを得ず対応を要する時は、必要最小限の対応と支援内容の記録等を行える体制の整備を確認しています。・身体拘束がどのようなことなのか、普段の活動でどのように意識するといったのか等、基本に立ち返り職員一人ひとりが学びを進めていけるよう努めていきたいと思っています。	
--	----	--	---	---	--